

製品名: フィラミン A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87468**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:281 kDa; Observed MW:281 kDa

抗原情報

遺伝子名	Filamin A
別名	FLN; FMD; MNS; OPD; ABPX; CSBS; CVD1; FLN1; NHBP; OPD1; OPD2; XLVD; XMVD; FLN-A; ABP-280
遺伝子 ID	2316
SwissProt ID	P21333
免疫原	ヒトフィラミン A の合成ペプチド

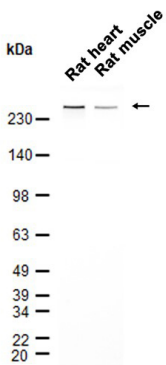
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アクチンフィラメントを架橋し、アクチンフィラメントを膜糖タンパク質に結合させるアクチン結合タンパク質です。このタンパク質は細胞骨格のリモデリングに関与し、細胞の形状や遊走に変化をもたらします。このタンパク質は、インテグリン、膜貫通受容体複合体、およびセカンドメッセンジャーと相互作用します。この遺伝子の欠陥は、脳室周囲結節性異所性症候群 (PVNH1、PVNH4)、耳口蓋指症候群 (OPD1、OPD2)、前頭骨幹端異形成症 (FMD)、メルニック・ニードルズ症候群 (MNS)、X連鎖性先天性特発性偽性腸閉塞症 (CIIPX) など、いくつかの症候群の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年3月]

研究分野

-

画像データ



フィラミン A ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用して、ラットの心臓、ラットの筋肉組織からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。